

岡本信二郎 おかもと しんじろう 詩人、俳人、歌人。明治十八年七月二十一日千葉縣海上郡銚子町生れ、昭和十七年五月八日歿（八五―一九四二）。筆名號冬木徹、土迦、土迦子、稻雀、迦山人、迦生。第一高等學校を経て、明治四十四年東京帝國大學法科大學政治學科卒。大正十一年山形高等學校教授（法制經濟及ドイツ語擔當）に任じられた。同僚の小島村英三、吹田順助が居り親交、また吹田を介し齋藤茂吉と相識する。十五年ドイツに遊學。昭和十六年一高講師（ドイツ語擔當）。生涯獨身。

譯書に、ショーペンハウエル著『意志と表象としての世界』（正篇第一巻）（昭和十六年十月）二十五日岩波書店「岩波文庫」。遺稿『岡本信二郎集』全二巻（一詩篇・昭和十八年十月）二十五日、（二隨筆篇・十九年六月）二十五日、（三俳句短歌詩篇・二十二年十二月）二十日神奈川・土迦會）、『雪明』（昭和五十五年）二月二十日神奈川・岡本信二郎著作刊行会）等。

